

長所を活かす高等教育の 国際化を目指して

——日本の東北大学と中国の内蒙古師範大学の
実態を手がかりに——

内蒙古師範大学 宝力朝魯

はじめに

- 自己紹介
- 題目の説明と目的

1 東北大学の国際化

- 昔
- 今

2 内モンゴル師範大学の国際化

- 内モンゴル師範大学の概況
- 科学技術史研究院
- 教育科学学院
- 社会学と民俗学学院
- 体育学院
- 蒙古学学院
- 蒙古学国際研究センター
- 国際交流学院

2 内モンゴル師範大学の国際化

- 外国語学院
- 歴史文化学院
- 物理と電子情報学院(アムステルダム大学との交流)
- 地理科学学院
- その他



社会科学が活発で、自然科学が比較的鈍い
民族と地域の特徴を生かすような国際交流

3 学生は大学の長所を求める

- 私は東北大学の博士課程に進学する時
- 東北大学の長所(ランキング評価も)
- 東北大学の優れた学術環境
- 内蒙古師範大学の長所
 - 民族的優勢条件
 - 地理的優勢条件
 - モンゴル語も中国語も勉強できる

4 短所の補足

- 早稲田大学の国際交流
- 東北地方は国際交流が比較的少ない(九州に比べれば)
- ドクター・ヘリーの話
- 東北大学は対外学術支援による影響力の更なる拡大を考えて良いかもしれない
- 長所は短所

4 短所の補足

- 内蒙古師範大学の弱いところ



先富起来



先動起来

(積極的に他大学に学ぶ)



国際化の推進

- 短所は長所(「貧乏は良い学校」)

5 共同学位開発プロジェクトの実施に当たって

- 奨学金の授与
- 授業料の免除
- 東北大学の学籍を持ちながら外の国々で勉強する

おわりに

- 長所を生かして国境を越える国際化
- 長所を生かして学校に迎え入れる国際化
- 短所補足の国際化
- 短所補足後、国境を越える国際化



更に長所を生かす高等教育の国際化へ